



新潟市歴史博物館  
博物館ニュース

# 帆檣成林

Vol.43

梅から桜の季節へ

## 「帆檣成林」とは？

帆柱が林のように多く立つ様子を表した語。人が多く出入りする活気ある「みなと」をイメージしました。

## CONTENTS

<b>特集1</b>	<b>新旧館長対談 ふたりが語る「みなとびあ」</b>	<b>P.2~3</b>
<b>特集2</b>	<b>平成30年度企画展 キラリ★新潟（美）の刀剣展</b>	<b>P.4</b>
歴史さんぽ	船上で平島あたりの中世を想う	P.5
おすすめの一冊	「西遊草」	P.5
みなとびあ研究notes	明治期の船とみなとの姿	P.6
館長日記	墓地の眺め	P.7
収蔵資料紹介	絵葉書「新潟農園」	P.7
博物館あちらこちら	博物館本館前の河戸	P.8

# 帆檣成林

—はんしょうせいりん—

新潟市歴史博物館  
博物館ニュース  
vol.43



■ 帆檣成林「はんしょうせいりん」第43号 ■ 発行日 平成30年4月25日  
■ 編集・発行／新潟市歴史博物館 〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10  
■ 印刷／株式会社ウヰザップ

## 【たいげんのひろばプログラム】

楽しみながら、遊びながら、昔のことを学びます。

日時	タイトル	内容	申込み・対象・参加費
4月28日 <sup>土</sup> ・29日 <sup>日</sup> 14:00~15:30	こいのぼりをつくろう	ビニール袋を使ったかわいいこいのぼりと風車を作ります。	申込み不要・材料がなくなり次第終了・無料
5月5日 <sup>土</sup> <sup>祭</sup> 14:00~15:30	紙カブつくり	かぶることができるカブを大きな紙で作ります。	申込み不要・材料がなくなり次第終了・無料
5月6日 <sup>日</sup> 10:00~15:00	ボランティアフェスティバル2018	旧税関のペーパークラフトや、よろいを着る体験など、遊べるプログラム満載!	申込み不要・定員なし・無料
5月12日 <sup>土</sup> 10:00~12:00	みなとびあワラ部	ワラゾウリづくりの自主練習をします。初心者の方もどうぞ。	ワラ部部員が対象です。
5月13日 <sup>日</sup> 14:00~15:00	さらさら砂絵	身近な砂を使って、かわいい砂絵をつくります。	申込み不要・材料がなくなり次第終了・無料
5月19日 <sup>土</sup> 14:00~15:30	みなとびあもめん部	綿から糸をつくります。綿をやわらかくしたり、糸を紡いだりする道具を使ってみましょう。	もめん部部員が対象です。
5月20日 <sup>日</sup> 14:00~15:30	こども歴史クラブ 「ミニチュア土偶をつくろう」	土偶づくりを通じて、粘土を焼いて道具にすることを体験します。	こども歴史クラブ部員が対象です。

お申込みは、電子メール・往復はがきで当館まで。

### 現在 開催中の企画展

#### キラリ★新潟〈美〉の刀剣展

日本美術刀剣保存協会新潟支部会員が所蔵する刀剣を中心に、古刀から現代刀まで、新潟市内で所蔵される刀身・刀装具約70点を展示します。

**会期** 2018年4月14日(土)~6月3日(日)

**休館日** 毎週月曜日(※4月30日は開館)、5月8日(火)

**観覧料** 大人500円(400円)、高校生・大学生300円(240円)、小学生・中学生200円(160円)

※( )内は20名以上の団体料金  
※土・日曜日及び祝日は小学生・中学生は無料  
※企画展の観覧券で、常設展もご覧いただけます。

**主催** 新潟市歴史博物館 日本美術刀剣保存協会新潟支部 新潟日报社 NST

**後援** 朝日新聞新潟総局 毎日新聞新潟支局 読売新聞新潟支局 日本経済新聞社新潟支局 産経新聞新潟支局 BSN新潟放送 TeNYテレビ新潟 UX新潟テレビ21 エフエムラジオ新潟 FM PORT 79.0 FM KENTO

#### 関連事業

- 目で楽しむ刀剣 (展示鑑賞会) 毎週日曜日 午後1時30分から(5月6日は午後3時30分から) 約60分間 ※事前申し込み不要。当日の観覧料が必要です(小・中学生無料)。
- 耳から学ぶ刀剣 (公開講座) 日本刀の魅力とその楽しみ方 講師:近藤昌敏氏(日本美術刀剣保存協会新潟支部支部長) 日時:5月6日(日) 午後1時30分~3時 会場:本館2階セミナー室 定員:80名(当日先着順) 参加費:当日の観覧券が必要です。小・中学生無料。 ※事前申し込み不要。

### 博物館 あちらこちら

博物館本館前の河戸

博物館本館は二代目新潟市庁舎の外観デザインを取り入れた建物で、前面には堀があります。堀は同市庁舎前にあった西堀を再現したものです。堀の両側には柳が植えられ、かつての街中の風情が伝わります。再現された堀端には、階段があって下に降りられるようになっています。これは河戸と呼ばれ、堀の水が流れていたところに洗い場として使われた場所です。かつては堀が人々の生活の一部としてあったことがわかると思います。街中の堀は、現在埋め立てられなくなってしまいましたが、博物館本館前は往時の新潟の姿をしのぶ場所となっています。



### 次回 企画展

#### にいがた 船と港の150年

開港後150年のみなとの歴史を紡いできた入港船舶を紹介するとともに、航路や湾岸施設の移り変わりを概観します。

**【会期】** 2018年7月14日(土)~8月19日(日)

**【休館日】** 毎週月曜日(7月16日、8月13日は開館)

**【観覧料】** 一般300円(240)円、大学生・高校生200円(160)円、中学生・小学生100円(80)円

※( )内は20名以上の団体料金  
※土・日曜日及び祝日は中学生・小学生は無料  
※企画展の観覧券で、常設展もご覧いただけます。

### 博物館講座

当館学芸員が調査・研究をすすめているテーマについて、毎月第4日曜日にお話します。

**【時間】** 13:30~15:00

**【会場】** 本館2階セミナー室

**【申込】** 不要(当日受付・定員80人程度)

**【資料代】** 100円(資料のない回は無料)

- ◆ 5月の講座:5月27日(日) 「アニメの時代考証〜シアター新作の舞台裏」 講師:森 行人
- ◆ 6月の講座:6月24日(日) 「関西所在の画から絵師・浄土をさぐる」 講師:中村里那

## お知らせ

- 5月18日(金)のシアターは全日新作アニメを上映します。なお、「国際博物館の日」として観覧無料です。
- 6月11日(月)~18日(月)資料燻蒸のため休館です。

### 編集 後記

43号では、小林昌二館長の退職にあたり、新館長となった伊東祐之副館長との対談を特集しました。紙幅の関係から掲載できなかった話題もありますが、いずれも自然と市民の話となり、それに対してみなとびあは何ができるのかに帰着することが印象的でした。みなとびあは伊東新館長のもと、小林前館長にもご助力いただきながら、これからも市民とともに歩む博物館として活動していきます。(中村)

■ お問い合わせ・申込みは博物館まで…

新潟市歴史博物館 みなとびあ

住所:〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10

Tel: 025-225-6111 Fax: 025-225-6130

E-mail: museum@nchm.jp http://www.nchm.jp

【休館日】 毎週月曜日、祝日の翌日・年末年始(12/28~1/3)

【開館時間】 (4-9月)9:30~18:00 / (10-3月)9:30~17:00

2017. 5. 28 現在

みなとびあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、まもなく開港150周年を迎える新潟の街をみんなで盛り上げていこう!という事業です。

「みなとびあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただいています。

